



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 トーモク
 代表者名 取締役社長 斎藤 英男
 コード番号 3946 東証1部
 問合せ先 常務取締役 内野 貢
 TEL (03) 3213-6811

第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）
 （連結）（単位 百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期累計 期間純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 14 日発表)	65,000	△1,600	△1,800	△ 800
今回修正予想 (B)	64,030	△ 540	△ 570	△ 650
増減額 (B - A)	△ 970	1,060	1,230	150
増減率	△ 1.5%	— %	— %	— %
前中間期実績 (平成 19 年 9 月中間期)	64,904	△1,146	△1,133	△ 375

(個別)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期累計 期間純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 14 日発表)	37,000	1,330	1,300	600
今回修正予想 (B)	36,590	1,620	1,670	880
増減額 (B - A)	△410	290	370	280
増減率	△ 1.1%	21.8%	28.5%	46.7%
前中間期実績 (平成 19 年 9 月中間期)	33,829	864	887	106

2. 修正の理由

平成 20 年 9 月第 2 四半期累計期間の業績は、発表している予想に比べ連結では、売上高が 970 百万円減収となりますが、経常損失が 1,230 百万円減少する見込みであります。住宅事業の費用削減等が主な要因です。特別損失では棚卸資産評価損が発生しますが、第 2 四半期累計期間純損失は 150 百万円減少する見通しであります。

個別の業績予想では固定資産の処分損等が第 3 四半期以降にずれ込むこととなり第 2 四半期累計期間純利益は 280 百万円増益となる見通しであります。

なお、平成 21 年 3 月期（通期）の連結並びに個別の業績予想につきましては、現在集計中であり、平成 20 年 11 月 7 日の第 2 四半期決算発表時に公表いたします。

以上